

## 報告書抄録

ふりがな	びわことうなんぶくさつがわちいきのこてい・こがんいせき							
書名	琵琶湖東南部草津川地域の湖底・湖岸遺跡							
シリーズ名	琵琶湖開発事業関連埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	12							
編著者名	小竹森 直子 吉川 昌伸 (株式会社パレオ・ラボ)・植田 弥生 (株式会社パレオ・ラボ)							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課／公益財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号 / 滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2							
発行年月日	平成25年(2013年)3月							
所収遺跡	所在地	コード		世界測地系		調査面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
北山田湖底遺跡	草津市北山田町地先	25206	077	35度1分40秒	135度54分47秒	4,305㎡	1982～1984年度 1986～1988年度	湖岸堤管理道路工事ほかに伴う事前調査
矢橋湖底遺跡	草津市矢橋町地先	25206	070	35度0分51秒	135度55分3秒	3,181㎡	1979年度～1985年度	湖岸堤管理道路工事ほかに伴う事前調査
矢橋港跡	草津市矢橋町地先	25206	071	35度0分26秒	135度55分16秒	200㎡	1981年度	湖岸堤管理道路工事ほかに伴う事前調査
北萱遺跡	草津市御倉町地先	25206	091	35度0分52秒	135度55分15秒	12,035㎡	1985・1986・1988・1989年度	湖岸堤管理道路工事ほかに伴う事前調査
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項		
北山田湖底遺跡	散布地	縄文時代～江戸時代		遺物包含層	縄文土器・弥生土器・土師器・近世陶磁器・鉄製品	縄文土器は瀬田川浚渫土砂に含まれていた可能性が高い		
矢橋湖底遺跡	散布地	縄文時代～江戸時代		遺物包含層	縄文土器・石器・近世陶磁器・銭貨			
矢橋港跡	港跡	江戸時代		石積突堤	近世陶磁器・銭貨			
北萱遺跡	散布地	縄文時代～鎌倉時代		自然流路遺物包含層	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・近世陶磁器・土錘・石器・木製品			
要約	<p>北山田湖底遺跡では、北山田漁港を中心に縄文時代～近世の遺物包含層を確認した。</p> <p>矢橋湖底遺跡は、縄文土器を含む瀬田川浚渫土が投棄されたことによる二次・三次的堆積・散布ではあるが、一部では遺構の存在する可能性が高い。</p> <p>矢橋港跡では、現存する突堤石積の調査を行い、近世以降の改修跡を確認した。</p> <p>北萱遺跡では、下層遺構の自然流路の上層に縄文時代から近世の多様な遺物を多量に含む遺物包含層がひろがる。明確な遺構は存在しないものの、上流域に存在する未確認に遺構・遺跡の存在を示唆する遺物も含まれている。</p>							